

議事(敬称略)

進行: 河本充司(事務局長)

記録: 柳澤達也

1 開会挨拶(網塚 浩 委員長)

・北海道大学事務局による運営は今月末で終了となる。これまでの運営へのご協力に感謝申し上げる。
・後半はコロナ禍によりオンラインでの開催となったため、当初懸念されていた北海道への幹事旅費が浮き、余剰金が発生している。次期事務局にて有効活用していただきたい。

2 事務局報告

2-1 会員情報・会計報告(会計 吉田紘行)

・2021年9月19日次点で、グループ数222(-3)、登録会員数1115(-42)名、物性委員253(-5)名(かっこ内は2018年9月30日よりの増減)
・2019年度より3年度(もしくは単年度)での会費納入をお願いしている。未納グループには再度請求を行う予定。
・会計報告(2019年8月9日から2021年9月19日まで) 収入1,054,145円、支出452,109円、残高602,236円。

2-2 事務局の交代について(委員長 網塚浩)

・現事務局(北海道大学)は2021年9月末をもって終了。次期事務局は東京都立大学に移り、委員長は堀田貴嗣先生、事務局長は青木勇二先生、任期は2021年10月~2024年9月となる。堀田貴嗣先生より挨拶があった。

2-3 次期幹事(四項幹事)について(委員長 網塚浩)

物性委員会規約(抜粋)には「四項幹事」が以下のように規定されている。

第5章 幹事

(幹事の構成と選出)

第14条 (略)

四(項) この他の幹事として、日本学術会議物理学委員会物性物理学・一般物理学分科会の委員より、同分科会の委員長が推薦した2名以内の者に物性委員会委員長が委嘱する。

(幹事の任期)

第15条 任期は事務局の任期と同じ3年とする。ただし、第14条四項の幹事は日本学術会議の委員の任期に合わせるものとする。

「経緯」

上記規約は2014年3月28日に改訂されたが、日本学術会議の委員の任期開始のタイミングが、物性委員会四項幹事の任期開始より1年早くずれたまま、6年間推移していた。本来ならば第15条に基づき、1年前の2020年10月に日本学術会議の委員が交代したタイミングで物性委員会第四項幹事も交代すべきであった。しかし事務局が失念していたこともあり、今回事務局が交代するにあたって、改めて日本学術委員会 第25期物理学委員会物性物理学・一般物理学分科会委員長に就任されている森初果先生に四項幹事をご推薦いただいた。

2021年10月1日~2024年9月30日の第四項幹事は以下の2名とする。

森 初果 東大物性研: 第3部会員

瀧川 仁 KEK物構研: 連携会員

2-4 幹事会報告(委員長 網塚浩)

2021年8月29日(日) 13:30~15:30にオンライン(Zoom)で行われた。参加者22名(幹事19名、事務局3名)

大型研究計画に関するマスタープラン2020について

・神戸大学 播磨先生からワーキンググループの活動報告がなされた。資料をホームページにUploadしておくので、月末まで意見を待って、適宜修正し、最終報告とする。

詳しい内容は <http://bussei-group.org/マスタープラン wg 活動報告/>

資料 <http://bussei-group.org/wp-content/uploads/c47d89e17f25f0128d76c177aa0b20d0.pdf>

森初果先生からの情報提供

「日本学術会議と政府との間で意見交換がある中で、10月初めに日本学術会議の総会がある筈であったが、政権が変わることもあり12月に変更されている。その後に大型計画についての議論が始まるであろう。」

3. 次期幹事（三項幹事）の選出について

選考方法：

物性委員によるノミネーション(8/6～8/20) 結果：推薦者 151 名

物性委員による Web 投票 (9/3～9/13 17:00)

有権者 253 名、投票数 155 票 (投票率) 61.3%

以下の開票結果に基づき、上位者から三項幹事を依頼することが承認された。

※ 同点者は事務局内で抽選を行い順位付けした。

辞退者が生じた場合は次点者を繰り上げる。

開票結果

1 位	遠山 貴巳	東京理科大理	45 票	
2 位	野尻 浩之	東北大金研	39 票	
3 位	廣井 善二	東大物性研	36 票	
4 位	香取 浩子	東京農工大工	35 票	
5 位	小形 正男	東大理	34 票	
6 位	芝内 孝禎	東大新領域	33 票	
	松川 宏	青山学院大学	33 票	
	求 幸年	東大工	33 票	
9 位	勝藤 拓郎	早大先進理工	32 票	
	石田 憲二	京大理	32 票	
	野原 実	広大先進理工	32 票	
12 位 (村上 洋一	KEK 物構研	31 票	※1 後日辞退された)
	黒木 和彦	阪大理	31 票	
14 位	東 正樹	東工大フロンティア	30 票	
	小林 研介	東大理	30 票	
	寺崎 一郎	名大理	30 票	
17 位	大串 研也	東北大大理	29 票	
	井澤 公一	阪大基礎工	29 票	委員会ではここまでの 18 名を選出
	堀田 知佐	東大総文	29 票	↑ (村上先生のご辞退により繰り上げ)
	瀧川 仁	KEK 物構研	29 票	
19 位	村上 修一	東工大理	28 票	
	播磨 尚朝	神戸大理	28 票	
	楠瀬 博明	明大理	28 票	
	岩井 伸一郎	東北大大理	28 票	
22 位	鬼丸 孝博	広大先進理工	27 票	

4. 施設等委員の推薦について

① 東京大学物性研究所 人事選考協議会委員

選考方法：

幹事により候補者をノミネーション(8/6～8/20)

結果：物性物理学分野 14 名、物性化学分野 6 名

幹事会(8/29 Zoom)にて投票 (3 次投票まで実施)

・以下の 3 名を物性委員会から推薦することが承認された。

物性物理学分野

求 幸年 東大工

網塚 浩 北大理

物性化学分野

野原 実 広大先進理工

② 東京大学物性研究所 共同利用施設専門委員会委員

選考方法：

物性委員により候補者を Web ノミネーション(8/6～8/20)

幹事会(8/29 Zoom)にて確認、調整

結果： 物性物理学分野 102 名

物性化学分野 12 名

物性委員により Web 投票 (9/3~9/13 17:00)
投票数 167 / 有権者数 253 (投票率 66%)

・以下の 9 名を物性委員会から推薦することが承認された。

物性物理学分野 (8 名選出)

1 位	野原 実	広大先進理工	36 票 ※2)
2 位	辺土 正人	琉球大理	29 票
3 位	大串 研也	東北大理	28 票
4 位	吉田 紘行	北大理	27 票
	野尻 浩之	東北大金研	27 票
6 位	岸根 順一郎	放送大学教養	26 票
	小林 研介	東大理	26 票
8 位	紺谷 浩	名大理	24 票
	和達 大樹	兵庫県立大理	24 票

物性化学分野(1 名選出)

1 位	陰山 洋	京大工	39 票
-----	------	-----	------

※2 人事選考協議会委員を優先し、重複を避けるために除外した

③ Asia Pacific Center for Theoretical Physics (APCTP) 日本委員

選考方法：幹事により候補者をノミネーション(8/6~8/20)

結果：6 名

幹事会(8/29 Zoom)にて投票 (2 次投票まで実施)

・以下の 1 名を物性委員会から推薦することが承認された。

村上 修一 東工大理

5. 話題

5-1 「エビデンスに基づく研究評価分析について」

KEK 物構研 協力研究員 瀧川 仁

資料 <http://bussei-group.org/wp-content/uploads/40495e659aa15bba37bdd090aa3e0fdd.pptx>

質疑応答

Q1：「この e-CSTI のデータはどれくらい昔のデータからあるのか？」

A1：「まだ 1 年分しか無い。」

Q1：「20 年前どうだったかというのわからないのですね」

A1：「過去には今のところ廻れない。これは全ての大学に人事データを出させたそうなので相当大変だと思うが、少なくともこれを継続するという方向のようだ。」

Q2：「コメントです。宮尾岩男氏 (内閣府参事官・現経産省) の「e-CSTI を活用し「選択と集中について考える」のスライドの内容を説明しているビデオがエルゼビアでみられます。」

https://www.elsevier.com/ja-jp/events/japan_event/e-csti-webinar-20210624-retro

A2：「e-CSTI のホームページに講演の資料などがございますのでご興味のある方はご覧になってほしい。」

Q3：「実際に検討会を立ち上げるという流れになっていくと思いますが、それに対してコメントはあるか。」

A3：「(検討会の開催は) 来年早々になると思いますので、ZOOM によるオンラインになると思う。その方がいろいろな方が参加できて宜しいと思う。」

5-2 「学術会議からの報告」

日本学術会議物理学委員会副委員長 東工大 教授 腰原伸也

資料 <http://bussei-group.org/wp-content/uploads/1165b971d5524bcb0c0afa3d64aea70e.pdf>
<http://bussei-group.org/wp-content/uploads/e40aaab941e9b5f9ae2658eacf357f01.pdf>

質疑応答

Q1：「研究者にお金を幾ら投入するとどうなるかというお話があったが、それはベーシックインカムとほぼ同じ考え方なので、委員会の中にベーシックインカム等について考えていらっしゃる方が入っていると、(議論が) スムースに進むと思う。」

「「雑務が増えた」という点について。コロナで人が集う会議が減るかと思いきや、減らなかった面もある。オンライン

の会議中に別の会議をダブルブッキングするなどのケースがあるので、(科学者と学術コミュニティに対する大規模) アンケートは調査方法を工夫しないと正確な回数はわからないのではないかと。

A1:「今回は若い人のアイデアを取り入れてなかなか面白いアンケートをやった。文系が多い官僚と我々理系では考え方が全然違うので、官僚を正しく説得するにはデータの出し方、アンケートの仕方にも工夫が必要。」

Q2:「NISTEP(ナイステップ)と学術会議が連携しているという話について、NISTEP 側もある程度データをオープンにするというメンタリティはあるのか。」

A2:「逆に言えばどういう風にデータを解析していけばよいかアイデアを求めているという感じが強い印象。学術会議から話を聞かせてほしいと依頼すると快諾してくれる。不正に関する例示などが多く、我々にも理解しやすい。」

6. 施設報告 * 詳細は配布資料にて。

・東北大金研 教授 野尻浩之 1:32

GIMRT (Global Institute for Materials Research Tohoku)の紹介

- 特長
- ・年4回の公募
 - ・海外関連課題の年度を超えた運用
 - ・金研以外の施設での課題実施も支援
 - ・若手の海外への研究訪問を支援
 - ・旅費の割り勘制度 (国際会議での来日に合わせての金研で共同研究など)

Covid19 への対応状況/強磁場コラボラトリー/33 T 無冷媒超伝導磁石

AAPPS (アジア-オセアニア物理学会) の紹介 (日本の委員は野尻浩之先生、坂井徹先生)

<http://www.aapps-dcmp.org>

・東大物性研 所長/教授 森 初果

R3 年度人事異動/R3 年度客員所員/R3,R4 年度外国人客員所員/人事公募

短期研究会

- ・国際ワークショップ 電子機能性有機物質の先端分光(10/25-28)
- ・分子性固体研究の拡がり(12/1-2)
- ・機能的走査プローブ顕微鏡の新展開(R4, 3/9-10)

将来計画 (国際外部評価) について報告

MMT サイクルについて (マテリアルズデータコモンズ)

共同利用・共同利用拠点 (JRR-3 中性子散乱の再開、BL07LSU@SPRING-8 の移設)

・J-PARC MLF /CROSS ディビジョン長 大友季哉

資料 <http://bussei-group.org/wp-content/uploads/a55cc797ae23d24b08225e69b4b43489.pdf>

“mfl info”を検索すれば MFL 中性子施設の運用状況・研究成果等が閲覧できる

負ミュオン関連 (小惑星リュウグウ試料の炭素分析)

Covid19 への対応状況 (遠隔実験の段階的実現) /学生短期・長期受け入れ状況

組織間 (産学) 連携/JRR-3 との連携 (受付窓口の一元化)

・KEK 物構研 教授 雨宮健太

資料 <http://bussei-group.org/wp-content/uploads/5f28ccd6e4f9617fe3f22c4257b9ee28.pdf>

Photon Factory の紹介 (ビーム診断系の高度化、高輝度化)

次期放射光施設 (マルチビーム、開発研究多機能ビームライン、R&D 計画)

・京大基研 教授 佐藤昌利

人事 (物性関係は該当無し) /外国人客員教授/計算機システムの更新

Covid19 への対応状況 (2021 年度限定の新ビジター制度、所員を通じて随時受付中)

国内モレキュール型研究会 (1 件 50 万円以内 随時募集中)

- 研究会
- ・Second Kyoto WS on Quantum Information, Computation, and Foundation (9/13-17)
 - ・巨視的量子現象と量子重力(10/11-14)
 - ・物質のトポロジカル相の理論的研究(10/18-22) etc...

国際滞在型研究会

- ・Novel Quantum States in Condensed Matter 2021 (2022/10/31-12/2 に延期)

